

SOU ~創発~ HATSU

KEIDAI DAYS

大阪経済大学 経営企画部 広報課

〒533-8533 大阪市東淀川区大隅2-2-8

TEL 06-6328-2431 (代表)

<https://www.osaka-ue.ac.jp/>

vol.53

- 2 ゼミナール教育：ZEMI-1グランプリ 他
- 4 課外活動：陸上競技男子日本インカレ出場 他
- 6 研 究：研究クローズアップ、教員著書紹介
- 8 学生広報隊が行く！：スケジュール管理法 他
- 10 社会実践：大経大PBL／長期有償型インターンシップ
- 13 社会連携：17歳からのメッセージ
- 14 国際交流：E-cafe オンライン 他
- 15 特 集：新入生 with コロナ、在学生が夢を実現
- 18 大学運営：2020年度春学期卒業式・学位授与式 他
- 20 DAIKEIDAI INFORMATION



第11回 ZEMI-1グランプリ



50チームから優勝に輝いたのは

「ad-Fourth」

藤原忠毅
ゼミ

学生たちの日頃のゼミナール活動における成果発表の場として恒例となった「ZEMI-1 グランプリ」。11回目の今年は、3学部18ゼミから50チームが参加した。予選はオンライン形式による動画審査だったが、本戦は10月31日(土)、D10教室において予選突破の6チームによる対面形式で実施された。

●ファイナリスト6チームが発表

最初に学長あいさつ、審査員紹介が行われ、トップバッターに二本杉剛ゼミ「Mr. マッチング」が、「マッチング日本代表～恋愛と幸福の関係性～」と題し、マッチングアプリを介した恋愛の可能性について発表した。続く宮川敏治ゼミ「チームl'amour」は「恋に幸せはあるのか」をテーマに、恋人や親しい友人の有無と幸福度の関係性を追究。3チーム目は服部圭介ゼミ「BEGIN」の「死亡フラグが立ちました」。死を意識した際の思考の変化について調査分析を行った。

後半は、米川雅士ゼミ「ええぬえぬ」が、日本のeスポーツ人口の拡大を図る「eスポーツ解説サイト eRookie」を提案。藤原忠毅ゼミ「Future Cats」の「バーコード決済は日本を変える？」は、事例検証でバーコード決済の普及ぶりを探った。同じ藤原ゼミの「ad-Fourth」は、「How to match emotion～オ

ンラインでの印象形成～」と題し、話者の語彙や容貌、画面背景などが印象をどう変えるかを分析した。

審査員は、「コロナの状況下でアンケート調査を多く行っていることに驚いた」と健闘を讃えつつ、「もっと具体的に」「調査対象の幅を広げて」など厳しい注文を繰り返す。学生たちは答えられる範囲で、精一杯応戦した。

●結果発表と表彰式

論理的思考力、着眼点、情報分析力、プレゼン能力、質問対応力の5つの項目から審査が行われ、1位は藤原ゼミ「ad-Fourth」、2位は服部ゼミ「BEGIN」、3位は宮川ゼミ「チームl'amour」が選ばれた。1位チームは「みんなで勝ち取った優勝。本当にうれしい」、2位チームは「成長が実感できた」と喜びを語った。学長の「入賞したチームは考察の深堀りができていた。コロナの状況下でしっかり準備した皆さんの頑張りに誇りを感じます」という言葉で、今大会は無事終了。関係者以外のは入場は禁止され、発表中もマスク着用が求められるなど、制約も多かったが、学生たちは持てる力を出し切って、満足そうだった。

本戦に残った6チームは11月22日(日)、オンラインで実施される第11回西日本インカレ合同研究会予選に出場した。



2位 服部ゼミ「BEGIN」



3位 宮川ゼミ「チームl'amour」



経営学部杉本・稲岡ゼミ「志プロジェクト2020」オンライン成果報告会



企業担当者に取材する様子

「志プロジェクト」では、学生が地元企業への取材で魅力を探り会社案内を作成する。この過程を通じて大学と地元企業の相互理解を深め、地元での就職の促進や地域人材の育成を目指している。昨年10月にスタートし、今年3月には成果報告会で作成した会社案内を発表する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響で中断に追い込まれた。全国各地で進行していた他大学のプロジェクトが次々と中止や延期を決定する中、本学では学生からオンライン開催の提案があり、参加企業、教員、事務局の再開への熱意も後押ししてプロジェクト継続が決まった。さらに「コロナ禍における企業活動」という新たな課題を設定し学生は各企業へオンラインインタビューを行い、その結果を報告集にまとめた。



オンライン成果報告会後の記念撮影

そして10月22日(木)には、「志プロジェクト2020」オンライン成果報告会を実施。経営学部の杉本俊介准教授と稲岡大志講師の基調講演後、各ゼミ生は担当した企業と会社案内やコロナ禍でのワークスタイルについて

コロナ禍の状況下だからこそさらなる深堀りを

全国各地の大学と地元企業を結び付け地域人材の育成を目指す「志プロジェクト」。富士ゼロックス株式会社がサポートする当プロジェクトに本学が参加して3年目。今年は経営学部の杉本ゼミ生24名(4年生6名 3年生18名)と稲岡ゼミ生11名(3年生11名)が参加し、10月22日(木)にオンライン成果報告会に臨んだ。

での意見交換を行った。また取材を行っていない担当外の企業とも話す機会が設けられた。その後、参加した各企業からの総評、志プロジェクト事務局の閉会の挨拶で終了し



担当する企業の製品について説明を受ける学生たち

た。総評では「企業のトップインタビュー等貴重な経験を積まれたと思うので、ぜひ就職活動に役立ててほしい」と参加学生の今後の飛躍に期待するメッセージが送られた。志プロジェクト大阪事務局を務める株式会社アピックス代表取締役社長河村武敏氏は「本プロジェクトは企業の立ち位置を確認し、社会的責任を果たせる大変意味のある活動と感じている。今年度の経験をいかして来年度はニューノーマル時代の志プロジェクトにつなげたい」と話した。

中止になってもおかしくない状況下でピンチをチャンスに変え、新たな領域に踏み込んだ報告会につなげられたことは杉本ゼミ生、稲岡ゼミ生にとって学びの大きな財産となった。



制作した
企業案内と報告書

経済学部梅村ゼミ×南海電鉄×UR都市機構×観音山フルーツガーデン

3つの法人と連携して高級フルーツのプロモート・販売

2020年10月16日(金)、18日(日)、経済学部梅村ゼミがUR都市機構、観音山フルーツガーデンとコラボして、いずみがおか広場で開催されたヒト・コト・モノがつながるマーケット「つながるDays」(南海電鉄主催)に出店し、観音山フルーツガーデンのフルーツや加工品をプロモート・販売した。

また、特設ステージでは「今だから農業・これからのフルーツ」をテーマに観音山フルーツガーデンの児玉典男会長と経済学部梅村仁教授が座談会を行い、日本のフルーツ農業の未来や可能性について語り合った。

梅村ゼミでは、事前に商品知識をまとめたりチラシやボードを制作、当日は積極的に販売活動を行なった。参加したゼミ生は「農家と関わったことや、3つの企業と



連携したことは初めての経験で、貴重な機会だった」と話し、梅村教授は「実社会が様々な人や組織が関係して成り立っていることを感じてもらえれば」と語った。





陸上競技部

藤井南希さん(人間科学部3年)
陸上競技男子200mで
日本インカレ出場



陸上競技部の藤井南希さん(人間科学部3年)が9月11日(金)~13日(日)にデンカビッグスワンスタジアム(新潟市)で行われた「天皇賜盃第89回日本学生陸上競技対校選手権大会(日本インカレ)」の男子200m走に出場した。日本インカレは大学No.1を決める学生最高峰の大会。藤井選手は「九鬼先生に様々な走りの技術を指導していただき、念願の日本インカレに出場できました。トップアスリートたちと同じ舞台に立てたことは言葉にできない経験と感動がありました」と語った。今後の目標は「自己ベストを更新し、21秒の壁を打ち破ること」。藤井選手の記録へのチャレンジは続く。



弓道部

弓道部(女子)が 地区推薦大学弓道大会選出試合 2年連続全国の舞台へ

優勝

今年度は全日本学生弓道女子王座決定戦が中止となり、代替試合として地区推薦大学弓道大会が開催されることになった。出場権1枠を巡って関西学生弓道連盟1部リーグの大学が総当たりで対戦し、本学は関西大学、甲南大学、関西学院大学といった弓道の名門校相手に全勝優勝を成し遂げ、見事全国大会の切符をつかみとった。

杉岡亜純主将(経営学部4年)は「3試合とも接戦で苦しい戦いの中、後輩たちの大きな成長もあり弓道部初の全勝優勝でリーグ戦を2連覇することができました。全国大会ではまず自分たちとの戦いに負けないよう強い心で挑み、全国制覇を目指したい」と力強く語った。昨年の全日本学生弓道女子王座決定戦では初戦で優勝校と対戦。1本差で敗れるという悔しい敗戦だったが、1年ぶりの全国の舞台で大阪経済大学弓道部が凛々しく活躍する姿を楽しみにしたい。地区推薦大学弓道大会は12月12日(土)、13日(日)、全国各地の弓道場で行われる。



硬式野球部

●三浦良裕さん(経済学部3年)
ベストナイン(指名打者)

●青木雄大さん(人間科学部4年)
ベストナイン(外野手)/首位打者

●宮原怜人さん(経営学部3年)
ベストナイン(二塁手)



山本学長が始球式を務める

9月5日(土)南港中央野球場(大阪市)で関西六大学野球2020秋季リーグ戦開会式が行われ、関西六大学野球連盟会長である山本俊一郎学長が式典後に行われた開幕戦で始球式を務めた。

硬式野球部の今季リーグ戦は無観客、2戦勝率制への変更、秋の神宮大会の中止が決する難しい状況下での戦いとなった。

序盤は粘り強く勝ち星を重ね、一時は首位に並び2007年の春秋リーグ戦連覇以来のリーグ優勝への期待も膨らんだが、接戦が続いた後半、勝ち星を落とし最終4位という結果に。しかしながら首位打者に輝いた青木雄大さん(人間科学部4年)をはじめ、宮原怜人さん(経営学部3年)三浦良裕さん(経済学部3年)の3名がベストナインに選ばれた。今リーグ戦で引退となる青木選手は「入部時に目標としていた首位打者のタイトルを最後に取ることができました。後輩にはリーグ戦優勝を果たし、監督、コーチを神宮大会に連れて行ってほしい」とエールを送った。来春、歓声に包まれた球場に大経大らしい全員野球で躍動する姿が戻ってくることを期待したい。

地域資源発掘プロジェクトに 経済学部生がチャレンジ

地元の魅力発掘のため

現地で

フィールドリサーチ

三重県名張市の錦生・赤目地域の魅力を再発見し、発信するための方策を考える「錦生・赤目地域の魅力発見プロジェクト」に重森花音さん、伊藤美夏さん、中山帆暖さん、川本滯希さん(いずれも経済学部2年)の4名が挑戦した。この取り組みは赤目四十八滝キャンプ場を運営する社団法人「滝川YORIAL」の招請に応じたもの。

9月6日(日)から12日(土)までキャンプ場に泊まり込み、地元を熟知した「地元コーディネーター」と共に地域の店舗経営者や農・林業従事者への聞き取り調査を中心に地元の歴史を学び、名張市役所で市長表敬訪問なども行った。最終日は同キャンプ場で活動報告会が開かれ、店舗経営を目指す人やフルタイムで働くことが困難な人向けの「チャレンジショップの設立」と販売ルートの拡大に悩む米

農家の課題解決のため「新米に特化した期間限定伊賀米直売所」を提案した。

参加した学生からは「地域の様々つながりを目の当たりにして、自分自身もいつか地元で貢献できる人になりたい」「今回の経験を通じ、将来は様々な企画を立案・実行できる仕事に就きたいと思った」といった感想が聞かれた。



左から川本さん、中山さん、重森さん、伊藤さん

研究クローズアップ



新型コロナ対策の「ソーシャルディスタンス」が家計消費に与えた影響を分析

●経済学部 経済学科 小巻 泰之 教授

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐと、3密回避やマスク着用の啓蒙活動、学校休校、外出抑制、休業要請など各種の対策が実施された。しかし、それぞれの対策が実際に感染拡大をどれだけ抑制し、経済にどれだけの影響を与えたのか、欧米では蓄積が進むものの、日本に関する定量的な分析は不足している。今後、新型コロナ対策の再実施や終了のタイミング、規模などを検討するうえで、定量的な分析は欠かせない。そのような中で、経済統計や経済政策が専門の小巻泰之教授はマクロ経済学を用いた実証分析を行い、「ソーシャルディスタンス(社会的距離の確保)の経済への影響」(2020年、ニッセイ基礎研 Report)としてまとめた。

2020年7月、総務省の日別家計調査を利用し、新型コロナ対策が消費に与えた影響を分析。消費を4区分、▽基本的消費(食品、光熱費など)▽延期可能消費(被服など)▽仕事関係消費▽ソーシャルディスタンス消費(外食、観光、映画など)——に分けて分析したところ、5月末時点で基本的消費が増加傾向を維持

する一方、ソーシャルディスタンス消費は大幅に減少。しかし2008年のリーマンショックなど従来の景気の落ち込みとは全く異なり、対面が必要な外食産業や観光業、文化活動が直接の影響を受けたことをデータから明らかにした。

これらの分析により、消費への影響は定量的に想定できることが確認され「外出が1%減少すると対面コミュニケーションが必要なソーシャルディスタンス消費は0.65%程度減少する」と試算。今後は、雇用環境の悪化で所得が減った影響が家計調査に現れると予想。また、需要の不足も加わり、スタグフレーション的な景気悪化につながるのではないかと、動向を注目している。

米国では、スペイン風邪で、後の世代に所得格差や教育格差が生じたとする研究結果がある。今回の新型コロナ禍で「新型コロナ世代」という言葉が生まれるかもしれないと考える小巻教授は、実際に今、どのような政策がとられ、経済にどんな影響があったのか、正確に記録しておく必要性についても言及している。



緊急事態宣言後におけるデイサービス利用者の健康に関する調査を発表

●人間科学部 人間科学科 高井 逸史 教授

今年4月7日、コロナウイルス感染症拡大防止のため大阪府で緊急事態宣言が発令され、4月16日には全国に拡大、5月25日に解除された。4月20日に報告された厚生労働省の調査によると、高齢者のデイサービスを行う介護事業所では、全国858事業所が休業した。

地域包括ケアやフレイル予防の研究を行う高井逸史教授は、大阪府介護支援専門協議会堺ブロックの協力を得て、デイサービスなどの通所介護サービスを利用する高齢者570人を対象に、5月10日(日)~31日(日)にかけて調査を実施。「緊急事態宣言後におけるデイサービス利用者の健康に関する調査」として結果をとりまとめ、6月下旬に発表した。

調査では電話アンケートを行い、通所サービスを継続した利用者「通う群」と、休業等により通所サービスを控えた「控える群」に分け、通所サービスを受けない場合の身体及び認知機能に及ぼす影響を分析した。分析結果の一部を紹介すると、デイサービスの利用を控えた人は、利用を続けた人と比較して、「転倒に対する不安」「物忘れ」「家族の介護負担」の項目で割合が大きく上回ることが明らかになった。

この調査結果に対し、通所サービス施設担当者は、「継続して利用した人は、コロナの影響をあまり受けていないことに驚いた。認知症の悪化や家族による介護負担の増加は想定内だったが、転倒に対する不安や生活の充実感がここまで悪化するとは思っていなかった」「休業要請や緊急事態宣言が解除されて、介護度が悪化し介護度の区分申請が増加した。介護度の重度化予防を講じるには、事業所だけでは限界がある。行政をはじめ、自治会、民生委員など地域の協力も必要」とコメントしている。

高井教授は今後の対策として、生活リズムを整え、自宅で身体を動かす習慣を身につけることが重要と提言する。デイサービスを利用していただる曜日・時間帯に介護スタッフや家族が自宅を訪問して直接ご本人と会話するなど生活リズムを整えること、自宅で簡単にできる体操のリーフレットを配布し、訪問の際に実施できているか確認する等の対策を提案している。また、家庭においては、認知機能に問題がなければ、毎日決まった時間に放送されるNHKラジオ体操番組を見ながら体操をすることや、ご家族の支援が得られるなら、決まった曜日・時間にYouTubeをテレビにつなぎ、体操することも効果的とアドバイスする。

教員著書紹介

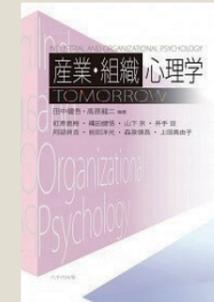
●著者
出版社
発行日
内訳
価格

2019・2020年度に発行された本学の教員による刊行物をご紹介します



シリーズ 沖縄の地域自治組織①
<北中部編>
**米軍基地と
沖縄地域社会**

●難波 孝志 教授 編
ナカニシヤ出版
2020年10月9日
198ページ
2,600円(税別)



**産業・組織心理学
TOMORROW**

●田中 健吾 教授・
高原 龍二 准教授 編著
八千代出版
2020年12月2日
264ページ
2,700円(税別)



**東住吉冤罪事件
虚偽自白の心理学**

●村山 満明 教授 著
岩波書店
2019年1月17日
368ページ
3,400円(税別)



**歴史と農書に学ぶ
日本農法の土
まわし・ならし・合わせ**

●徳永 光俊 教授 著
江農山漁村文化協会
2019年3月30日
296ページ 単行本
2,800円(税別)



スポーツ文化論

●相原 正道 教授 共著
晃洋書房
2019年5月20日
152ページ
1,800円(税別)



スポーツマンシップ論

●相原 正道 教授 共著
晃洋書房
2019年8月30日
174ページ
2,200円(税別)



**スポーツ
マーケティング入門**

●相原 正道 教授 共著
晃洋書房
2019年10月10日
148ページ
1,800円(税別)



**ヨーロッパの会計規制
(研究叢書第90冊)**

●本田 良巳 教授 著
中央経済社
2020年1月21日
A5・408ページ
6,000円(税別)

もう失敗しない!

スケジュール管理法

オンライン授業が主流になった現在、以前よりも細かいスケジュール管理をしなければレポート課題の提出が遅れてしまうなんてことも。そこで87人のアンケート回答者の中から4人を取材しスケジュール管理の工夫について教えてもらいました!
 期間: 2020/9/28~10/16 調査方法: KVC掲載アンケートフォーム



いま4回生から 就活の経験談を頂きました!

~こんななんぼあってもいいですからね~

コロナウイルスの影響で、就職活動も大きく変化した。相次ぐ説明会の中止や、オンライン面接など、企業も学生も初めての試みだったが、その中で4年生が体験して、得たことを聞いてみた。

●オンライン面接で良かったことは?

松野 家が遠いため、交通費の面でとても助かりました。

仁部 移動時間も節約でき、直前まで面接対策ができるようになりました。

松野 自分の部屋でするためリラックスして面接に臨めますよね。カメラの横に付箋を貼っていたので、本番で言いたい内容を思い出せました。

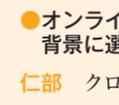
●オンライン面接で困ったことは?

清水 パソコンが古く、スマホで面接を受けたことです。充電がすぐ無くなり、とても焦りました。目線の取り方も難しく、どこを見るか困りました。また、カメラは映ったのに声が届かないこともあり、その時は電話で対応していただきました。

濱田 相手に良く見てもらえるようにパソコンの高さや照明の明るさの調整など、面接のために部屋を変えたことに手間がかかりました。また、雨の日は回線トラ

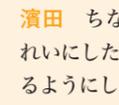


ブルが多く困りました。そのため、スマホを横に置き、すぐ連絡できるようにしていました。



●オンライン面接時は部屋のどこを背景に選んだ?

仁部 クローゼットです。
清水 同じくクローゼットですが、和室を選んだ人もいます。



濱田 ちなみに、部屋をきれいにしたうえで、興味があるものを見えるようにしておくといいことを大樟塾^{※1}で学びました。アイスブレイク^{※2}で聞いてもらえるかもしれないからです。

仁部 書斎を背景にしている人は「本読めるの?」と聞かれるかもしれないということですか?
清水 そういうことです。それを狙ってあえて私は、グローブを置きました。
松野 腹筋ローラー置いとけば良かった…。

●皆さんへ就活アドバイス

清水 就活はもちろん、一見何も関係ないことでも全力で取り組みましょう。それらはいずれ財産になると思います!

仁部 当初事務職に絞っていましたが、文系総合職=営業とは限らないことを学び、文系総合職に視野を広げたことで、内定をいただくことができました。皆さんも広い視野を持って臨んでください!

松野 頼れる人には素直に頼り、活用できるものは活用しましょう。たまには息抜きも必要です。就職先は早く決まっても遅く決まっても入社は4月です。周りに流されず、自分のペースで頑張ってください!

濱田 事前準備をしっかりしましょう。就活は情報戦です。早ければ早いほど良いので、相手より知識を深めて挑もう。やればできる! (取材: 萩森)



※1 大樟塾とは、大阪経済大学の学生を対象とした就職課による就活力を養う講座で、ワンランク上の就職活動に挑戦する3年生のためのプロジェクト。主に就職活動におけるフォロー講座や面接練習などを行う。
 ※2 アイスブレイクとは、企業間での取引や商談をする際に、はじめに世間話などの商談と関係のないことを話し、商談しやすい環境を作る行為のこと。ここでは、面接の初めに面接官と就活生が距離を少しでも縮めるために行う会話のこと。

① 仁部沙彩
② 経営学部 第1部経営学科
③ 3年生の2月
④ 就職課・ナビサイト (マイナビなど)

① 清水裕一
② 情報社会学部 情報社会学科
③ 3年生の2月
④ ナビサイト (マイナビ)

① 松野花凛
② 経済学部 地域政策学科
③ 3年生の12月
④ 就職課・ナビサイト (リクナビなど)

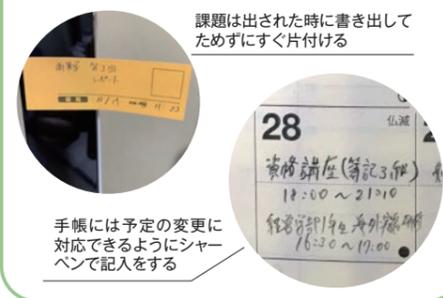
① 濱田将大
② 情報社会学部 情報社会学科
③ 3年生の12月
④ 合同説明会・ナビサイト (クリ博など)

プロフィール ①名前 ②学部・学科 ③履修書完成時期 ④情報収集

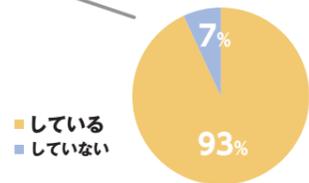
手帳

Q どんなきっかけで始めましたか?
A 大学のオンライン授業が始まってからです。課題を書き出して整理するためTo doリストの作成から始めました。
Q 何か工夫していることはありますか?
A まず講義のレポート課題を洗い出しTo doリストを作ります。その後書き出した課題は「長期レポート、1時間で終わるもの、30分で終わるもの、すぐ終わるもの」と4つに区分けしバラバラに取り組みます。また1週間の課題の出来が良ければご褒美を設定しています。(情報社会学部1年男子Oさん)

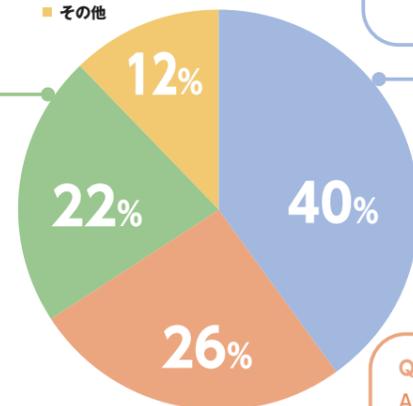
Q どんなきっかけで始めましたか?
A 小学生の頃から習い事が多かったので、その頃から毎年手帳を買っています。
Q 何か工夫していることはありますか?
A レポート課題等は出された時に終わらせようとしています。To doリストの付箋を電気スタンドに貼り、早めに片付けることを意識しています。(経営学部2年女子Tさん)



あなたはスケジュール管理していますか?



- スマホアプリ
- 両方利用
- 手帳
- その他



両方利用している



モチベーションをあげるために、かわいい色合いで予定を色分けできるアプリを愛用中。

スマホアプリ

Q どんなきっかけで始めましたか?
A 元々手書きでしたが、機能の面でアプリの方がいいものもあるのではないかと感じて、探したことがきっかけです。
Q 何か工夫していることはありますか?
A 課題はスマホのメモに教科名と提出期限を書いて、提出チェックを行い、自分でわかるようにすることを心掛けています。(経営学部2年男子Sさん)

あなたはスケジュール管理に何を利用していますか?

Q どんなきっかけで始めましたか?
A 1年生の頃にダブルブッキングしてしまっただけから改善するために手帳を使用し始めました。
Q 使い分けはありますか?
A 手帳には詳しく、アプリには簡潔に書くという風に区別しています。
Q 何か工夫していることはありますか?
A 手帳にはバツと見ただけで理解できるように予定別でマークを付けています。特にインターンシップやアルバイト等の授業以外の予定に付けるようにしています。(人間科学部3年女子Sさん)

みんなのこだわり

取材を受けていただいた学生以外の方からも、たくさんコメントをいただきました。アンケートにご協力いただきありがとうございます! いろんなこだわりがある方がいたり、面倒だからスケジュール管理はしていない方がいたりしました。その中から他の回答も少しご紹介いたします! まだ自分にあった方法を見つけていなければ参考にしてみてください!
 (取材: 岡、阪本、下谷、徳綱、見瀬、三宅、保田)

スケジュール管理編

- Word、Excelで管理する
- 予定完了で花丸を付ける
- スマホだとYouTubeとゲームをしてしまうので手帳一本に絞る
- 予定を細かく書いて隙間時間を把握する
- 予定が決まったらすぐにメモを取る
- オンライン授業でもリアルタイムとオンデマンドの予定で色分けを行う

授業の課題提出編

- スマホのメモアプリで日付順に並べる
- レポートの分量と期限を比べて優先する課題を決定する
- リマインダー機能に簡単にレポート課題内容を記入する
- レポート課題専用アプリを利用する
- レポート課題の提出期限を3日前に設定しておく



大阪経済大学
Project Based Learning

今や夏休みの恒例行事となった本学「PBL」(Project Based Learning) / 課題解決型学習プログラム。今年度は、コロナ禍という大変な状況の中、株式会社日本経済新聞社、タニコー株式会社の協力のもとで、多くの学生が提案策定に挑んだ。

今だからこそ。学生のできる新しい商品、サービスを創ろう

タニコー株式会社 × 大経大



学生目線の新聞の新しい楽しみ方とは!? 『日本経済新聞(紙媒体)』をいかに大学生に普及させるか

日本経済新聞社 × 大経大

日本経済新聞社でのプログラムは8月20日(木)、同大阪本社カンファレンスルームで第1日目のオリエンテーションとワークショップがスタートした。受講者は1、2年生合わせて14名。入学以来キャンパスでの授業を受けたことがなく、この日初めて同級生と対面することとなった12名の1年生にとっては、特別な1日となった。

山本学長が「『新聞を大学生に普及させる』というテーマは、新聞や顧客についてしっかり深掘りし、考え抜く力を身につけられる好材料」と、PBLへの期待を述べた。日本経済新聞社からは、同社の特徴の紹介とともに、ビジネス思考力を伸ばすためには、インターネットのニュースやSNSよりも紙の新聞を読むことが効果的、という趣旨のレクチャーを受けた。併せて就職活動のヒントとなる新聞の読み方が提案されると、学生たちは大きくうなずいていた。

第1日目を終了した学生たちは「新聞のいいところをうまくアピールできる提案を出したい」「就職活動にもプラスになる活動ができて嬉しい」などと、口々に

意欲的な姿勢をアピール。この日を皮切りに始まったPBLでは、およそ1ヶ月かけて、『日本経済新聞(紙媒体)をいかに大学生に普及させるか』という課題に答える提案を創り上げていった。

アイデア出しや提案のとりまとめ、中間発表など5回のワークショップを経て、9月16日(水)に最終発表が行われた。場所は初回と同じ日本経済新聞大阪本社カンファレンスルーム。日本経済新聞社の審査員と本学教職員を前に発表した。「ONEチーム」は、ポスター掲示と動画共有サービスを連動させた広報戦略、およびポイント制による顧客維持戦略を提案。「PNSチーム」は、就職活動生をターゲットに、通学時間などに新聞に触れてもらいやすいよう、紙面サイズの変更や音声

コンテンツの活用などをアピール。「4A」は、全国の経済系大学の授業へ日本経済新聞を取り入れる仕組みの説明を行った。

審査では「デジタルツールの活用方法が新鮮だ」「紙面のリサイズ提案は衝撃的」など、フレッシュな視点が高く評価された。どのチームも甲乙がつけにくい接戦であったが、最優秀チームには「4A」が選ばれた。

学生たちからは「チーム活動ができて楽しかった」「一人ではできない課題に挑戦できた」など、コロナ禍でも人とのつながりがもてたことへの感謝の声があった。また「自分の言葉で表現することを知った」「長所や課題を発見できた」など、成長につながったという感想も聞かれた。



ONEチーム

PNSチーム

4A

コロナに負けない! 飲食店を元気にする “大阪経済大学&タニコー パッケージ” を設計しよう!

業務用厨房機器などの製造販売を軸に、店舗内装なども手がけるタニコー株式会社の協力を得たPBL型インターンシップ。8月19日(水)の第1回ワークショップは、オンライン形式で実施し、1年生11名、2年生12名が参加した。

学生たちはモニター画面を通じて「行動力を身につけたい」「ビジネススキルを学びたい」などと自己紹介。続くチーム分けでは、オンラインで初めて出会う受講者たちが、いかに意見を出し合えるかが最初の課題となった。PBLを始めるにあたり、経営学部大森准教授は「能動的な学びを経験してほしい」と激励。タニコー株式会社から出された課題は、昨今の外出自粛により売り上げ低迷が続く個人や小規模チェーンの飲食店への、新たな事業展開に必要な商品やサービスパッ



山神山人

ッケージの開発だった。説明を受けると、学生たちは「異業種から転身するお客様に提案していか」「廃業にともなうサービスはビジネス対象となるのか」などと次々に質問。最後に次回ミーティングまでの課題、リサーチ方法についてのアドバイスを受け、初回は終了した。



ohsho

キャンパスやオンラインで提案作成を進めた学生たちは、中間発表を経て、9月17日(木)、本学C31教室にて成果を発表した。トップバッターは「スポンサーズ」チーム。本学学生がタニコー株式会社の顧客である飲食店のメニューを開発、本学食堂で提供するという内容だった。次の「山神山人」チームは、キッチンカーの営業支援、販促の仕組みなどを提案。「ohsho」チームは、定額制の厨房機器清掃サービスを発表。「尼崎のたい焼き屋」

チームは、地域の大学生による低価格のPR動画作成サービスを紹介した。

講評では「どのチームも、顧客の問題点を踏まえ、我が社の損益分岐についてもきっちり算出した素晴らしい事業提案」「社に持ち帰り、進めていきたい提案がいくつもある」と絶賛。最優秀チームは、発表の内容、PRチラシの充実度などにチーム力を感じさせた「スポンサーズ」に決定した。

学生たちの感想は「グループワークを通じ、臨機応変に対応する大変さを経験できた」「新しいことにチャレンジし、全力で打ち込めてうれしかった」「意見が高く評価してもらえ、自信が持てた」など。持てる力を余すところなく発揮し、今後の学生生活への足がかりを得た充実感を語ってくれた。



尼崎のたい焼き屋



産学連携で本格的な

実践型教育を

進路支援部では、株式会社エーアイティと産学連携で寄付講座「通関士講座」を6月～10月の期間に全28回にわたって開講。また講座と連動して8月19日(水)から3ヶ月にわたる長期有償型インターンシップを実施した。

資格講座と連動した長期有償型インターンシップ実施

「通関士」は輸出入者の代理人として税関に申告や各種手続きを行う貿易に関する唯一の国家資格。通関士講座では、中国や東南アジアを中心に国際貨物輸送事業を行う東証一部上場企業である株式会社エーアイティの現役社員が講師となり、試験対策にとどまらない実務に即した内容の講義が展開された。受講生は10月に行われた通関士試験に挑戦した。

本学にとって、学生になじみの薄い業界や職業を掘り下げて学び、就業体験として意義のある長期有償型インターンシップを行うことは大変貴重な機会である。一方、株式会社エーアイティにとっては、人材育成に加え、業務改善・効率化を図り、サテライトオフィスを強化するという狙いもある。

には他人の財産を取り扱う通関業務には大きな責任が伴うことや、仕事の面白さを体験してもらいたい」と語った。

また、長期有償型インターンシップは応募者全員が同社幹部による面接を受け、通過した学生10名(うち8名が通関士講座受講者)がエーアイティ大阪本社(堺筋本町)での研修を経て、新大阪にあるサテライトオフィスで通関業務の補助として書類作成やデータ入力等に携わった。学生が希望すればインターンシップ終了後もアルバイトとして勤務することが可能となっている。

インターンシップの受け入れを行っている大阪通関部の永田部長は「学生たちは予測以上の吸収力で、理解するスピードも速い。1ヶ月でできるようになればいいと思っていた入力業務も、3日目には専門的な内容を質問してくるまでになった。いい意味で驚かされた」と語り、通関士講座で講師を務める近藤部長代理は「学生は机の上に通関士のテキストを置いて業務の参考にしており、熱心な人はテキストが真っ黒になっている。学生

参加した古川侑香さん(経済学部3年)は「オンラインでのインターンシップでは味わえない雰囲気を感じることができた。また、社員同士が意見を言い合うのを見て、仕事は遊びじゃなくて真剣勝負なんだと肌で感じた」と感想を述べた。また、山本大希さん(経済学部3年)は、将来の仕事について、「講座を受講していた頃は、就職先は物流業界しかないと思っていたが、世界にはいろんな職業や業種があることを知って、いろいろ考えた方がいいんじゃないかと思うようになった」と話した。就業体験を経て仕事の面白さや厳しさを知り、社会を捉える視野が広がったようだ。



第20回高校生フォーラム17歳からのメッセージ表彰キャラバン

さまざまな揺れる思いを映した作品たち

今年で20回目を迎えた高校生フォーラム「17歳からのメッセージ」。10月中旬よりグランプリと金賞受賞者の高校を訪問し、表彰状を授与した(一部はオンラインで実施)。

今年の募集内容は①今までの自分、これからの自分②災害と防災について考える③今、これだけは言いたい!(自由課題)で、全国502校から28,643作品が集まった。9月4日(金)に最終審査会が行われ、グランプリ3作品、金賞9作品、銀賞51作品(学生審査員賞1作品含む)、奨励賞87作品、学校特別賞31校が選出された。

各校での表彰式では、山本俊一郎学長や近藤直美審査員長、辻審査員が広報課職員と共に各高校を訪問し、全校集会や校長室などで受賞者に表彰状を直接授与した。桜花学園高等学校(愛知県)では会議室で表彰式の間が設けられ、グランプリ以下、銀賞、奨励賞を受賞した生徒が一堂に会して山本学長から表彰状と目録等を受け取った。また、石川県立小松北高等学校では全校集会で表彰式を行い全校生徒で受賞を祝った。鳥根県立松江清心養護学校ではオンラインによる表彰と近藤審査員長による講評を行い、画面越しに受賞者の喜びの声を聞くことができた。

テーマ②で東日本大震災での悲しい経験を多くの人に語り継いでほしいと願う親戚のおじさんとの対話を描き、グランプリを受賞した桜花学園高等学校の林咲良さんは、「10年越しの思いを、このフォーラムを通じて実現することが出来てとても嬉しい。一人でも多くの方に読



大阪経済大学

17歳からのメッセージ



桜花学園高等学校にて左から山本学長、林咲良さん、若松校長

んでもらえたらと思う」と語った。また、テーマ③で友達に影響されて献血に行ったことを描いた大阪市立工芸高等学校の上野悠菜さんは、「結果的には、献血ができなかったので、このことを忘れないでおこうと思って書いた。受賞を狙っていたわけではないので、グランプリ受賞という知らせを聞いて、ただただ驚いたが、高校時代のいい思い出になった」と喜んだ。

高等学校の先生方からは「国語表現」の教材として評価されている本フォーラム。今年は新型コロナウイルスの影響で外出自粛となる中、休校中の課題として取り組んだという学校も少なくない。応募作品から伝わる高校生たちをとり巻く切実な現状や心に秘めた本音に触れて、彼らが思いを表現する場となる本フォーラムの存在意義を改めて感じる事となった。



熊本市立必由館高校にて鉦落萌さん、島田愛花さん



北州市立甲陵高等学校にて志村理桜さん、崎田常務理事

英語カフェ
(E-café)
オンライン

オンラインで広がりを見せる語学教育

新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年度中の海外留学の中止が相次ぐなど、対面型プログラムの実施が困難な状況が続く中、国際部はZoomを活用した英語カフェ (E-café) オンラインを5月28日 (木) よりスタートした。

初めての取り組みということもあり、例年実施している対面型のE-caféと比較して参加者の減少も予想されたが、新規参加者が増加。学生のオンライン英会話のニーズが明らかになった。また参加者

からの要望に応え、新たに秋から開始した「マンツーマンプログラム」は、申込開始後しばらくして12月までの予約枠が埋まった。

英語の他に「無料オンライン韓国語広場」も10月から12月の2ヵ月間行われている。今後のオンライン語学プログラムについては、KVCを通じて案内予定。

問い合わせ先

国際交流課: kokusai@osaka-ue.ac.jp



海外学生インターンシップ受け入れ

教職員が調整を重ね、オンラインで実現!

初の海外インターンシップもコロナで中止の危機

本学ではカナダのヨーク大学とインターンシップに関する協定を昨年に締結。今年度から受け入れを予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で学生が来日できなくなったため、急遽プログラムを変更し5月11日 (月) から7月17日 (金) までの約2ヵ月間オンラインインターンシップを実施した。

参加した John Gaspar さん (教養学部3年) は本学学生に対する英語レッスンを中心に各種英語資料の作成や本学ホーム



のおかげで、学生たちは楽しい雰囲気の中で英語と触れ合っている様子でした」と話す。

John さんは「入国が不可能な状況にもかかわらず、オンラインでのインターンシッププログラムを提供していただいた大阪経済大学の関係者の皆様にお礼申し上げます。将来は母国の高校で国語や映画の科目の教師を目指しているので、今回のインターンシップの経験が大変役立つと感じました」と語った。

ページ英語版の校閲などの業務を経験。英語レッスンは全10回。テキストを自作するなど念入な準備もあり、受講生からは「私たちの生活を踏まえた内容となっていて、英語を学びたいと思う気持ちを高めることができた」などの好評を得た。インターンシップを担当した経済学部副学教授は「初めての海外オンライン授業で不安もありましたが、動画や音楽を取り入れるなど工夫された John さんの指導



新たに広がる国際交流の輪

国立台北大学 (台湾・台北) と協定を締結

本学と国立台北大学は7月27日 (月)、一般交流協定および学生交換協定を締結した。国立台北大学は台湾北部に位置する台北市と新北市にキャンパスがある国立総合大学で6学部18学科を有し、学生数は約10,000人。台湾法商教育の旗艦大学とされている。昨年にはカリフォルニア州立工科大学ポモナ校 (アメリカ)、ク

ライストチャーチ工科大学 (ニュージーランド)、漢陽大学 (韓国) と大学間の一般交流協定を結び、ここに国立台北大学が加わることで国際交流の輪がさらに広がる。在学生には、語学力向上はもちろんのこと、多様な文化・価値観に触れ、より幅広い視野を身に付けることが期待される。



Welcome to your Home! 新入生交流会

Webでの授業を余儀なくされた春学期。新入生に限らず多くの大学生が行動を制限された。自粛ムードが漂う中、今まで一度も大学に来たことがない新入生のために、本学職員により新入生交流会が企画され、先輩学生有志とともに実施した。

●キャンパスを見て回ろう!

自己紹介のワークの後はキャンパスツアー。どこにどんな施設・部署があって、教室はどうなっているのか…。そんな不安を解消するため、先輩学生たちとキャンパスマップを片手に、学内を回遊した。あらかじめ決められたルートをたどりながら、教室ではクラブ・サークルの紹介や、クイズが出題され、グループを盛り上げた。その後、元の教室に戻ってからは本番さながらの試験を実施。そして試験の解説と全体の講評を情報社会部長の草薙先生よりいただいた。



終了する頃には、すっかり打ち解けあった学生たち。「オンラインで顔だけを知っていた人と会えてうれしかった」「入りたいクラブの先輩と話せてよかった」など、対面での交流の喜びを語った。上級生たちも「楽しかった、ありがとう」の言葉ももらった。「人と人をつなぐ役目があった」と満足そうだった。

キャンパスでの対面授業が、秋学期より一部始動する。交流会はそこに向けての意欲を高める催しとなった。

●学長、教職員の温かいメッセージと交流会



9月17日 (木)、E21教室で実施された情報社会学部部の交流会。新入生54名が参加した。オープニングムービーは広報課職員の手作り。学長や各学部長、

各部署からのウェルカムメッセージを届けた。そして、やや緊張した面持ちから始まった交流会。その緊張をほぐしていく先輩学生たちのユニークな自己紹介を見て、少しずつ笑顔が増えていく。各グループでゲームを交えた自己紹介、その後他グループとの交流も経て、盛り上がりを見せていた。



チェックポイントをたどりながらキャンパスを知る



クラブ活動を紹介



サークル活動の説明



情報社会学部草薙学部長が講評



連絡先を交換する学生たち

在学生から
新入生へ

動画でキャンパスツアー してもらおう！

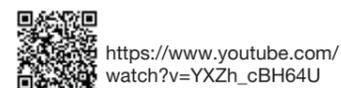
コロナの影響で、入学式、オリエンテーション、新入生キャンプなど大学生活をスタートするイベントが中止となり、授業もオンライン講義となったことから、新入生がキャンパスに来る機会がなくなってしまった。新入生が大阪経済大学を身近に感じられる情報を発信できないかと「新入生のためのキャンパスツアー動画制作」が企画された。この企画に「なかなかキャンパスに来る機会がない新入生に、少しでも大学の魅力を伝えたい！」という想いを持った学生広報隊2名と北市ゼミの2名が参加、また新入生を代表して経営学部1年のYoutuber「麻タロウさん」が出演した。

当初は1本の動画予定だったが、撮影を進めるうちに撮影場所が増えて東校地と西校地の2本に。Youtubeに公開された動画は11月1日現在、合計約2,200回再生されている。



西校地
編

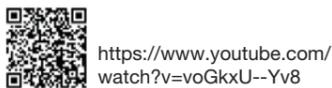
新入生キャンパスツアー動画vol.1 (西校地編)



https://www.youtube.com/watch?v=YXZh_cBH64U



東校地
編



<https://www.youtube.com/watch?v=voGkxU--Yv8>



●経営学部3年 田宮 佳奈さん

私が1年生の時に上級生からSNSで助けてもらったので、今度は自分が新入生の力になればと思い、「2020年大経大お助けズ」をスタートさせました。同じサークルに所属する安田さんに声をかけたところ、快く仲間になってくれました。新型コロナの影響が始めた時期から質問数が急増。内容も履修登録や授業の受け方、KVCの使い方など、多岐にわたっていきました。文字数制限があるTwitterで相手に伝わるよう表現するのは難しく、説明しきれない時には解説動画を作成したこともありました。

この活動を通して、伝える力が身についたので、今後の就職活動にも活かしていきたいし、可能であればまた来年も「お助けズ」の活動をしたいと考えています。

Twitter

本学の公式サイトとは別に、大学生活について新入生たちが抱く様々な疑問を先輩学生の立場からSNSで回答する「大経大お助けズ」運営していたのは経営学部と経済学部の学生2名。匿名で質問できることから、非常に多くの新入生から質問が寄せられた。大学非公式でありながら、2人は秋学期のスタート時まで新入生に寄り添った多くの回答を発信し続けた。

新入生の
ありとあらゆる悩みに答える
「大経大お助けズ」

●経済学部3年 安田 武樹さん

「お助けズ」の活動はすでに終了しましたが、3,800件以上のツイートがあり、大人数と関わってきたのだなと実感しています。最初の頃は緊張しましたが、「助かりました！」という反応を励みに頑張りました。

回答する中でよく感じたのは、「助けすぎるといけない」ということです。少し検索すればわかる質問に対しては、「ヒントは与えるけど、自分で探してね」というメッセージを送ることもありました。コロナ禍で心細い日々を送っている後輩たちも、徐々に自分で情報を集め、人と出会い、答えを探していけるようになって欲しいです。

新入生のために何かしたいと始めた活動ですが、つながる楽しさを経験できて、自分自身も得るものがありました。

◆夢を実現するために両立した学業と仕事

幼い頃から、『ラーメン屋を開業したい』という夢がありました。高校卒業後は現場で働きながら腕を磨くつもりでしたが、将来独立することを考えると経営を学ぶ必要性も感じていました。その2点を両立できる環境が、大阪経済大学の経営学部第2部でした。

チェーン展開するラーメン屋で働きながら、大学では企業経営全般について学びました。経営学部第2部の授業はグループワークと発表が多く、とにかく実践的。伝える力を身に付けることができました。また、「模擬契約」の授業を担当していた現役の弁護士である高瀬先生には契約書作成で熱心に指導していただき、大変お世話になりました。

◆練りに練ったビジネスプランとその実現に向けて

学びと実践を繰り返しながらビジネスプランを練り、新屋台形式のラーメン屋を開業します。新屋台形式とは、駐車場を借りて調理場としてのプレハブ店舗と食事をする屋外スペースを設ける形式で、おそらく日本初だと思います。駐車場を借りるために、古書販売チェーン店「古本市場」の本社にビジネスプランを携えて何度も直談判しに行きました。はじめのうちは話を聞いてもらえませんでした。何度も足を運んで提案するうちに、応援して下さることになりました。今では第2号店についても話題にのぼることがあります。

また、駐車場を借りることで抑えた経費は材料費にまわし、素材にとことんこだわったラーメンを提供します。鶏ガラでは

／在学中に開業／

目指すは
みんなが幸せになれる
ラーメン屋！

本学での学びを生かし、学生起業家に

「自分の店を持ちたい」。そんな夢への最短距離を求めて本学に進学したという福留新貴さん(経営学部4年)。学業と開業に向けた準備を両立し、コロナ禍乗り越えて、ようやく2021年に夢への第一歩を踏み出す。



なく、丸鶏でだしをとり、化学調味料は一切使用しません。麺には国産小麦を使用します。

◆コロナで開店延期となるも、ビジネスチャンスの側面も

9月の開店を予定していましたが、コロナで延期せざるを得ませんでした。でもコロナによる環境の変化はチャンスにもなりました。例えば、ラーメン販売で一切お金を触らない仕組みです。1年前にすでに計画していたのですが、もともとは「お客様を待たせない」「清潔な店にする」ことを実現するために考えた仕組みでした。また、食事スペースを屋外にしていることも、新屋台形式の強みになるのではと考えています。

今は2021年春の開店に向けて最終調整をしています。目指すのは「お客さんを幸せにするラーメン屋」。店名は「大我」です。大我とは人も自分も幸せになるという意味で、斉藤一人さんの著書で知りました。仕事を通じて、目の前にいるお客さんを全力で幸せにしたいと思っています。



新屋台『大我』
▼お店情報はコチラ



大阪経済大学2020年度春学期卒業式・学位記授与式を挙

自信と心の余裕をもって、新しい場面に一步踏み出そう



9月25日(金)にD10教室にて大阪経済大学2020年度春学期卒業式・学位記授与式を実施した。

学部卒業生は、経済学部38名、経営学部37名、情報社会学部17名、人間科学部8名、計100名。研究科修了者は、経営学研究科2名、経営情報研究科1名の計3名。式典では、吹奏楽総部が卒業生の門出を祝って演奏後、現在は日本プロサッカーリーグのカマタマーレ讃岐で活躍する川崎一輝さんから届いたビデオメッセージを視聴した。続いて、来賓、学長、常務理事、学部長、研究科長、保護者が見守る中、山本俊一郎学長より総代に卒業証書と記念品が授与された。式辞では、山本学長が「卒業までの半年間、不安が大きかったら途中で無事卒業に至ったことは素晴らしい。未知なもの、見えないものに直面して不安を感じる時こそ、自分の

心の芯をしっかりと持ち、心に余裕をもって新しい場面に踏み出そう」と卒業生を激励した。続いて、崎田洋一常務理事が「失敗や挫折を乗り越えるバイタリティと、相手の立場を理解し気持ちを思いやるセンシティブリティを大事にしてほしい」と藤本二郎理事長からの祝辞を読み上げた。

そして卒業生による答辞では総代の片岡伸哉さん(人間科学部)が「学生生活はバトミントン部の活動に力を注ぎました。副主将を務め、目標だった全国大会にも出場するなど充実した日々を過ごしました。在学生の皆さんには悔いのない学生生活を送るためにも、やるべきことは後回しにせず常に全力で取り組んでほしい」と語った。

式典後、卒業生たちは学部・研究科別に分かれて、学部長・研究科長が一人ひとりに卒業証書・学位記を授与した。



在学生にも卒業生にも見てほしい、今の大阪経済大学オープンキャンパスだけど、高校生だけじゃない!

大阪経済大学を体感しよう。WEB OPEN CAMPUS 2020実施中

本学では、7月22日(水)より「WEBオープンキャンパス2020」を特設サイトにオープン。8月23日(日)にはモデル/タレントとして活躍中の谷まりあさんをゲストに迎え、「10年後の私」をテーマにスペシャルトークを生配信した。

「WEBオープンキャンパス2020」では、昨年までオープンキャンパスで実施してきた対面でのイベント内容を、動画を中心としたコンテンツに置き換え、特設ホームページやYouTube公式チャンネルを通じて、受験生に大学の魅力を多彩に伝えている。8月23日(日)にはモデル/タレントとして活躍中の谷まりあさんをゲストに迎え、現役高校生が司会を務め、山本俊一郎学長、情報社会学部の林怡蓉准教授、光川哲平さん(経済学部4年)浜崎梨香さん(情報社会学部4年)と「10年後の私」をテーマにスペシャルトークを生配信。視聴者によるアンケートや質問にリアルタイムで集計結果を見ながらコメントする双方向のコンテンツや、大学のビジョンや特色、キャンパスライフなどのトークで本学の魅力を伝えた。

WEB OPEN CAMPUS 2020

<https://www.osaka-ue.ac.jp/opencampus/>



受験生応援企画
LIVE配信ダイジェスト

<https://www.ch-files.net/ouwebopencampus/>



新型コロナウイルス感染拡大予防の ためのガイドラインおよび行動基準を策定



本学では「大阪経済大学新型コロナウイルス感染拡大予防のためのガイドライン」および「大阪経済大学新型コロナウイルス感染拡大防止に基づく行動基準(BCP)」を策定し、大学ホームページ上で公表している。対面授業も一部再開している中、本学におけるすべての活動に関して感染症拡大防止策を徹底し、全学生と教職員が安全に安心して授業等に取り組めるよう、引き続き全学を挙げて取り組んでいく。

感染症拡大のリスクと隣り合わせであることを常に意識しながら、一人ひとりが感染防止に向けて行動することが対策の基本。学生の皆さんにも引き続き協力をお願いしたい。

全学一体となって取り組む 大経大のコロナ対策

Keep Campus Clean!!

学生、教職員が一体となって、キャンパスの衛生管理の徹底に取り組んでいる。

● 出入構時の管理

学生の出入りは正門、B館の2カ所に絞り、守衛室でカードリーダーに学生証をかざして入退館時間を記録。同時にサーモグラフィ(非接触型体温計)で、検温を行う。



● 遮蔽

各窓口に透明ビニールカーテンを設置し、飛沫を防ぐ。入構時、マスクを持参していない学生、マスクの紐が切れた学生には守衛室にて配付し、着用を義務化。



● 対人距離の確保

オープン端末室、共用談話スペース、昼食用臨時スペースはソーシャルディスタンス確保のため席を減少。デスクパーテーション等も一部教室で設置。



● 清掃・消毒の大幅な強化

教室、各設備について清掃回数、箇所を増やす。手指用消毒液を各館出入口付近等、各使用教室の出入口付近に設置。



第33回大阪経済大学教育懇談会をオンラインで実施

例年6月から7月にかけて大隅キャンパスをはじめ地方会場で開催する「大阪経済大学教育懇談会」。今年は新型コロナウ

イルスの感染拡大に伴い延期となっていた。大学では関係部署が感染症拡大防止策について検討し、10月下旬に大学ホー

在学生への温かい支援で つながる思い

大樟会(同窓会)、後援会より学生支援の寄付

8月3日(月)本学同窓会組織である大樟会より、新型コロナウイルス感染症で影響を受けた学生支援として1,500万円の寄付を賜り、田村正晴会長から山本俊一郎学長に目録が渡された。また9月30日(水)には本学の保護者組織である後援会より同じく学生支援として、500万円の寄付を賜った。

本学が、修学特別支援金をはじめ、学生の就学を継続できるよう様々な対策を講じている中での、卒業生、保護者からの心温まるご支援。有効活用させていただくとともに、教職員が感染防止、学生支援に丸くなって取り組み、今後も安全・安心な教育環境の提供に努めていく。



DAIKEIDAI INFORMATION

卒業式・学位授与式 のご案内

2020年度大阪経済大学卒業式・学位授与式は2021年3月19日(金)に挙行いたします。

詳細については、随時大学ホームページに掲載いたしますので、ご確認ください。

お問い合わせ先

大阪経済大学
総務部総務課
06-6328-2431(代)



2021年度 教育懇談会のお知らせ

下記の日程を予定しております。

大阪 6/19 土 ▶ 大阪経済大学

高松 7/3 土 ▶ リーガホテルゼスト高松

岡山 7/4 日 ▶ 岡山プラザホテル

教育振興募金ご協力のお願い

先行きが見えない状況下、学生の学びを止めないためには、総額約5億円の経済的支援だけでなく、さらなる支援の拡大と継続が必要です。大阪経済大学の学生が、誰一人として経済的理由により就学をあきらめることのないよう、皆様の厚いご支援とご協力を賜りたくお願い申し上げます。

教育振興募金へのお申し込み方法

■銀行振込の場合

6月に同封した振込用紙をご利用ください。追加で必要な場合は事務局までご依頼ください。
(指定銀行の場合、振込手数料無料)

■本学窓口受付(現金)の場合

D館5階経理課にてお手続きください。

■古本募金(本学はきしゃぼんの協働パートナーです)の場合

●インターネット

<http://www.kishapon.com/osaka-ue/>
からお手続きください。



●電話

フリーダイヤル0120-29-7000へ
「大阪経済大学に寄付したいのですが」とお伝えください。

■インターネット(クレジットカード払い可)の場合

インターネットの場合のみ、恐れ入りますが、30,000円以上からのお取り扱いとなりますのでご注意ください。
<https://www.osaka-ue.ac.jp/information/contribution/application.html>
からお手続きください。



OK 募金にできるもの・できないもの NG

新しくてきれいな本、大歓迎です!

- ISBN (国際標準図書番号) がある本
- 実用書 ● 学術書 ● ビジネス書
- 月刊誌 (雑誌コード有)
- DVD ● ゲーム ● スマホ ● CD

リユースできません!すみません

- ISBN (国際標準図書番号) がない本
- 付属品・付録が欠損しているもの
- 百科事典・辞書 ● コンビニコミック
- 個人出版の本 ● マンガ雑誌
- 週刊誌 ● 新聞
- VHS ○ ビデオテープ ○ レコード

古本募金 きしゃぼん

本・DVDを換金して寄付する
古本募金

古本募金きしゃぼんは、本・DVDなど、使い終わったものをリサイクル換金して寄付できる新しい募金のシステムです。



本・DVDを送る

箱に詰めてお申込み
お申し込みたいとご指定の時間に
宅配業者が引取りに伺います。

5点以上で
送料無料!

配送



査定・換金

1点ずつしっかり査定します
集荷・査定・報告はきしゃぼん
運営会社(嵯峨野株式会社)が担当します。
協賛募金の100円を追加して寄付されます。

換金額に協賛金
+100円!

換金額を
寄付



寄付

集まった寄付金は
「大阪経済大学」の
活動に役立てられます

お問い合わせ先

大阪経済大学教育振興募金事務局(総務課) 06-6328-2431(代) somuka@osaka-ue.ac.jp